

鉢花用サルビア新品種「『ミライ』シリーズ」3品種の育成	
【要約】シソ科サルビア属の日本固有種であるアキギリの鉢花用新品種3品種を「『ミライ』シリーズ」として育成した。草姿がコンパクトで、花つきがよく、花色はそれぞれパープル、ブルー、ピンクで、9月下旬から10月中旬頃に開花し出荷できる。	
中山間農業研究所 中津川支所	【連絡先】0573-72-2711

【背景・ねらい】

本県は全国有数の鉢花・花苗産地であるが、秋期の品目が少なく、特に中山間地域の夏期冷涼な気候を活かせる秋期の品種・品目の育成が求められている。また、花きの流行は変遷が激しく、独自性の高い品種・品目の育成が求められている。そこで、秋に出荷が可能な県オリジナルの品種・品目を育成するために、秋を代表する品目であるサルビアの仲間である日本固有種のアキギリを用いて、鉢花用品種を育成する。

【成果の内容・特徴】

- 1 サルビア属キバナアキギリ種の自殖後代を母本に、サルビア属アキギリ種を父本に交配し、草姿がコンパクトで、花つきがよく、花色が華やかな品種として、「ミライパープル」（出願番号：第34576号）、「ミライブルー」（出願番号：第34577号）、「ミライピンク」（出願番号：第34578号）の3品種を育成した（令和2年3月品種登録申請、表1、図1、図2、図3）。
- 2 「ミライパープル」は、開花期が10月上中旬頃で、草姿にボリュームがあり、花色が紫と白のバイカラーである（表1、図1）。
- 3 「ミライブルー」は、開花期が9月下旬頃と3品種の中で最も早く、草姿がコンパクトで、花色が清楚なかすり状の青色である（表1、図2）。
- 4 「ミライピンク」は、開花期が10月上中旬頃で、草姿にボリュームがあり、花色がピンクと白のバイカラーである（表1、図3）。
- 5 耐寒性に優れ、管理も容易である。

【成果の活用・留意点】

- 1 本品種は、品種登録申請中である。
- 2 本品種の導入により、花の品目が少ない秋に出荷が期待できる。
- 3 本品種の生産は、県内限定とする。
- 4 令和2年度末までに栽培研究会を立ち上げ、生産拡大を図る。

【具体的データ】

表1 育成品種の特性（令和元年）

(n=10)

品種名	開花期 (月. 日)	草丈 (cm)	株幅 (cm)	花序長 (cm)	花序数 (本/株)	花冠長 (mm)	花冠色（筒部）* 下唇弁色*
ミライパープル	10. 10	44. 5	47. 8	15. 7	18. 1	38	2502 8907
ミライブルー	9. 27	30. 1	30. 5	16. 3	24. 4	34	2701 8603
ミライピンク	10. 10	42. 6	54. 9	15. 0	16. 0	37	2502 8904

*JHSカラーチャート番号



- 開花期は10月上中旬頃
- 草姿にボリュームがある
- 花色は白と紫のバイカラー

図1 「ミライパープル」（令和2年度 5号鉢）



- 開花期は9月下旬頃
- 草姿がコンパクト
- 花色はかすり状の青色

図2 「ミライブルー」（令和2年度 5号鉢）



- 開花期は10月上中旬頃
- 草姿にボリュームがある
- 花色は白とピンクのバイカラー

図3 「ミライピンク」（令和2年度 5号鉢）

研究課題名：2020 清流の国ブランド開発プロジェクト事業「国際社会に向け「ぎふ」をアピールできる輸出向け新花き品目の育成」（平成27年度～令和元年度）

研究担当者：服部哲也、浅野正